西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1294年	２月21日	永仁二年	一月十八日	旱魃・渇水	松尾寺文書	荘園史資料 P236	［僧良祐等六名連署状］松尾寺与池池田庄上方箕田村沙汰人名主百姓等契約事、／右子細者、承元年中、令建立梨子本池、自河以西令耕作処、彼池水不足之間、年々令旱損者也、然間、申請当寺領山林荒野等、例建立新池、以彼流水、助旱田、且令開発新田、三町寄進于当寺、以彼為供
1295年	１月30日	永仁三年	十二月十五日	火災	一代要記	日本災異志	醍醐寺火
1295年	６月15日	永仁三年	四月二十四日	冷害・雪害	如是院年代記	新校郡書類従 20-P262	雨雹、
1295年	10，11月 (10.17-11.15)	永仁三年	九月	その他：風害	合符	日本震災凶饉攷	大風
1295年	８，９月 (8.19-9.17)	永仁三年	七月	その他：風害	合符	日本震災凶饉攷	大風
1295年	８，９月 (8.19-9.17)	永仁三年	七月	その他：風害	如是院年代記	新校郡書類従 20-P262	七、八、九月大風
1295年	９，10月 (9.18-10.16)	永仁三年	八月	その他：風害	合符	日本震災凶饉攷	大風
1296年	４月11日	永仁四年	三月	火災	皇年代略記	日本災異志	三島神社焼亡
1296年	10月３日	永仁四年	八月二十八日	火災	帝王編年記	日本災異志	安楽寿院法華堂火
1297年	５月17日	永仁五年	四月十八日	火災	帝王編年記	日本災異志	富小路内裡火
1298年	11月１日	永仁六年	九月十九日	火災	歴代皇紀	日本災異志	延暦寺火
1300年	７月５日	正安二年	六月十日	防災：疫病	師守記四 - 一三六頁	史料纂集	今日依世間病事、被行四角四（堺）御祭云々
1300年	７月17日	正安二年	六月二十二日	防災：疫病	師守記四 - 一三六頁	史料纂集	被立伊勢以下五社奉幣使、依天下病事也
1302年		正安四年		旱魃・渇水	続史愚抄	旱魃霖雨史料	春夏間…及炎旱
1302年	７月24日	正安五年	六月二十日	風害：その他	師守記五 - 四八頁	史料纂集	天陰雨降、寅剋巳後吹風、辰剋巳後大風、所々大木令吹折之、巳剋止風、雨聊止了、
1302年	７月25日	正安五年	六月二十一日	洪水：その他	師守記五 - 四八頁	史料纂集	自夜雨降、終日甚雨、以外洪水云々、
1302年	７月27日	正安五年	六月二十三日	防災：大雨	師守記五 - 四九頁	史料纂集	今日可被発遣止雨二社奉幣使、
1302年	８月２日	正安五年	六月二十九日	その他：大雨	師守記五 - 七二頁	史料纂集	寅剋巳後雨降、終日不休、此間民庶乞雨之処、降雨、神妙云々、
1302年	８月21日	正安五年	七月十九日	地震	師守記五 - 八六頁	史料纂集	未剋大地震、
1302年	９月５日	正安五年	八月五日	風害：その他：大雨	師守記五 - 九一頁	史料纂集	天陰、時々雨降、申剋巳後風吹、酉剋大風、入夜甚雨大風、民屋多以吹破云々
1302年	９月６日	正安五年	八月六日	風害	師守記五 - 一〇三頁	史料纂集	今朝吹破所々、被加修理、
1302年	10月４日	正安五年	九月五日	洪水：風害	師守記五 - 一四八頁	史料纂集	依今月五日大風洪水、彼松木顛倒之刻、正殿艮方葺萱并瑞垣及御門等破損之間…
1305年	５月８日	嘉元三年	四月六日	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	卯剋大地震
1305年	11月１日	嘉元三年	十月六日	その他	東寺百合い	鎌 29-22358	〔東寺評定事書〕一、山城国損亡事、十月六、為検地差下維那法師…
1309年		延慶二年		その他：風害	和漢合符	日本の気象史料	是歳諸国大風
1311年	５月19日	応長一年	四月二十二日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-12	天陰雨下…今日止雨奉幣也、吉田祭依洪水延引、
1311年	５月22日	延慶四年	四月二十五日	防災：疫病	園太暦	総覧 5-586、鎌倉時代医学史の研究	疾疫流行により九社に奉幣
1312年	10月26日	正和一年	九月十七日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-34	天陰降雨、及晩大雷鳴、七条辺霹靂云々、
1313年	４月10日	正和二年	三月六日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-42	天晴、及晩天陰暴雨、子剋地震有音、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1313年	4月24日	正和二年	三月二十日	防災：疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-44	又奏大仏御汗事御卜形、神祇官申云、公家慎之上、怪所口舌驚恐病事、陰陽寮天下疾疫事云々、
1313年	6月6日	正和二年	五月四日	防災：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-48	終日雨降、明日伊勢一社奉幣也
1313年	6月7日	正和二年	五月五日	その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-48	凡当時天変地妖等不知数之間、慎入之外無也、
1313年	7月1日	正和二年	五月二十九日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-53	天陰雨降、近日霖雨過法、定洪水歟、為歎々々、凡上下不静、歎入々々、
1313年	7月2日	正和二年	五月三十日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-53	入夜雨降、近日霖雨及数日、梅霖過法、尤歎入、
1313年	7月4日	正和二年	六月二日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-53	天陰雨降、河水溢之間、人多流死云々、
1313年	7月5日	正和二年	六月三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-53	天猶陰雨不休之間、作絶句詩、聊申内侍所、其趣、仮令、代民可棄我命之故也、即雨脚休、又暫雨湿、即晴、夕陽影新、其後天猶雖陰、雨脚止了…
1313年	7月9日	正和二年	六月七日	旱魃・渇水：疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-54	天晴、炎暑無術之間、大略如疾、
1313年	7月11日	正和二年	六月九日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-54	天晴、炎暑難甚之間、結構作泉、俊言朝臣作進之、
1313年	7月31日	正和二年	六月二十九日	防災：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-55	天晴…此間久雨不降、仍可払神泉苑云々、
1313年	8月11日	正和二年	七月十一日	防災：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-57	今日祈雨奉幣也、…
1313年	8月12日	正和二年	七月十二日	防災：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-57	今日神泉苑掃除…入夜雨降、
1313年	9月20日	正和二年	八月二十一日	防災	花園天皇宸記	増補史料大成 2-60	天晴、止雨奉幣之効験歟、但昨日自奉幣以前天晴、
1313年	9月22日	正和二年	八月二十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-61	朝間天晴、自申剋雨降、及晩大風大雨、…雨降之間、人皆沾
1314年	2月12日	正和三年	一月十九日	疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-88	奉問新院御疱瘡事、凡当時、自去年冬比、疱瘡大略毎人疾云々、是依朕不徳歟、尤驚歎無極、
1314年	2月23日	正和三年	二月一日	防災：疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-89	近日疱瘡流布、此間毎人病之、仍為朕祈祷、今日有鬼気祭、是依先例也、又今夜有四角鬼気祭事、今日大原野祭矣、…
1314年	3月1日	正和三年	二月七日	疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-90	頭書…近日疱瘡天下人皆病也、仍今日有免者云々、
1314年	3月15日	正和三年	二月二十一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-91	天晴、入夜降雨如妖、
1314年	4月16日	正和三年	三月二十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-95	天陰、自去夜大雨降、終日不休、
1314年	4月17日	正和三年	三月二十四日	洪水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-95	臨時祭使舞人等昨日不帰参、今日上洛云々、是依洪水也…
1314年	6月14日	正和三年	四月二十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-104	天晴、及晩天陰甚雨滂沱、入夜雨休止、
1314年	6月15日	正和三年	四月二十四日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-104	天晴、及晩天陰甚雨滂沱、雷鳴二声、及夜半雨脚休、
1314年	6月20日	正和三年	四月二十九日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-104	天晴、及晩暴雨降、
1314年	7月9日	正和三年	五月十八日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-105	天陰、終日降雨滂沱、入夜時々晴、
1314年	7月13日	正和三年	五月二十二日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-106	天晴、及晩天陰甚雨滂沱、
1314年	8月6日	正和三年	六月十七日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-107	天晴、午剋許暴雨降、即休止、
1314年	8月8日	正和三年	六月十九日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-107	天晴、今日炎暑雖猶盛、涼風始至、誠知立秋節、
1314年	8月14日	正和三年	六月二十五日	その他：風害	花園天皇宸記	増補史料大成 2-107	天晴…申剋大風暴雨、暫時晴、
1314年	8月18日	正和三年	六月二十九日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-108	天晴、未剋許暴雨降、即休止、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1315年	６月５日	正和四年	四月二十五日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従25下-P331	被修水天供、…雨降了、
1316年	７月31日	正和五年	七月四日	地震	武家年代記裏書	続史料大成18	辰剋大地震
1316年	８月19日	正和五年	七月二十三日	地震	武家年代記裏書	続史料大成18	戌剋大地震
1316年	８月22日	正和五年	七月二十六日	防災：疫病	八坂神社記録	増補続史料大成44	為天下病事、被進御願文於当社…
1316年	８月24日	正和五年	七月二十八日	防災：疫病	八坂神社記録	増補続史料大成44	為天下病事御祈、…
1316年	７，８月(8.9-9.7)	正和五年	七月	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従25下-P331	被修水天供、第二日雨降了、
1317年		文保一年		疫病：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成2-144	今年五六月已来多病事、四月比炎旱、又六月中下旬之間旱、然而及晦比甘雨降、最勝講結願日也、若有仏神冥助歟、又是最勝王経之威力也、
1317年	（旧暦４月30日が存在しない）	文保一年	四月三十日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従25下-P331	被修水天供、第二日雨降了、
1317年	２月22日	正和六年	一月三日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-109	天晴、巳剋大地震、近代未曾有有程大地震也、良久後動止、後有声、暫又有声、頃而又有声、須〇又小動有声、其後又暫地震、不可説事也、…又午剋地震有声、…入夜又地震五々度、〔頭書〕今日地震都合十余度也、不可説事也、々々々々、
1317年	２月23日	正和六年	一月四日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-109	天晴、此明地震、終日地震度々也、丑剋大地震両度、
1317年	２月24日	正和六年	一月五日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-109	天晴、寅剋地大震、梁棟傾危之間、驚起至黒戸、敷畳於庭上、欲降地之間、動揺止、猶地震連々不断之間、不能着寝、相具剣璽、終夜在黒戸、自寅剋至辰剋、地震大略不断也、驚歎外無也、都終日地震数十ヶ度、古文趣以外也、…後聞、地震之間、人家或顛倒云々、白河辺五人有死者
1317年	２月25日	正和六年	一月六日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-110	天晴、地震数ヶ度、猶未休、
1317年	３月21日	正和六年	一月三十日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-113	天晴、未剋大地震、但不及三日地震、戌剋地又震、
1317年	３月30日	正和六年	二月九日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-114	天晴、辰剋地震有声、連々地震非直也事、尤可恐々々、
1317年	４月２日	正和六年	二月十二日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-114	天晴、此間地震毎日事也、
1317年	４月12日	正和六年	二月二十二日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成2-115	天陰降雨大風、当花盛無念無極、…
1317年	４月16日	正和六年	二月二十六日	大雨：地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-115	天陰雨降、戌剋地震有声、過謂大動、
1317年	４月20日	正和六年	三月一日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-115	天晴、未剋地震大有声、
1317年	４月21日	正和六年	三月二日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-115	天晴、牛剋小地震大有声、
1317年	５月25日	文保一年	四月六日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成2-123	辰剋許大雨降、俄而止、如此雨未聞、不可説雨也、若雹歟、雨声不尋常之間、欲出見之処、即休、
1317年	６月５日	文保一年	四月十七日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成2-125	申剋地震、頗大、又鳴動過法、
1317年	６月12日	文保一年	四月二十四日	防災：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成2-131	晴、可有祈雨奉幣…
1317年	６月17日	文保一年	四月二十九日	防災：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成2-133	水天供自今夜被始行、…
1317年	６月18日	文保一年	五月一日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成2-133	晴、炎旱巳渉旬、南野無青苗、只有赤地云々、朕以逮居重任、不可不恐歟、…午後、天陰風頗吹、甘□惣灑、喜悦無極、水天供験歟、…雨脚降上之者、可結願之由仰了、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1317年	6月23日	文保一年	五月六日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成 2-134	辰剋大地震
1317年	6月24日	文保一年	五月七日	防災：旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-134	陰、朝間雨不降、午後陰雲四満、水天供過七日、未見其験、但去夜雨、今日陰気、尤其験歟、一日雨猶不足云々、件雨尤前相歟、午後雨降、水天供験歟、尤可尊、
1318年	8月13日	文保二年	七月九日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従 25下 -P331	水天供、自初日降雨、第三日結願了、
1319年	3月1日	文保三年	二月一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-155	自夜前大雨降、大風吹、今朝風雨無止、天顔属晴、
1319年	5月24日	文保三年	四月二十六日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-155	陰雨降、及夜大雨如妖、
1319年	5月25日	文保三年	四月二十七日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-155	陰雨降如昨、
1319年	6月16日	元応一年	五月十九日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-169	陰、大雨如妖、及晩天晴雨止、
1319年	6月26日	元応一年	五月二十九日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-170	自廿二日、至今日、霖雨不休、
1319年	8月2日	元応一年	七月八日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-172	晴、今年夏間少炎暑、此両日多暑気、
1319年	6，7月 (6.27-7.25)	元応一年	六月	疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-171	今夏、自五月、至今月、霖雨不休、都無暑気、閏月之故歟、但今月暑気如例年四月始、依天時之不調、人多病、或及死者多、
1320年	2月24日	元応二年	一月七日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補史料大成 2-189	旧冬寒気超過例年、五六旬老人皆云、未有如此寒云々、此春又余寒不滅旧年、仍人多病死、北国人遇雪死者十之五六
1320年	6月16日	元応二年	五月二日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-198	梅霖不晴、終日甚雨、徒然之外無事、
1320年	6月20日	元応二年	五月六日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-199	梅雨頻降、楡漢不晴、
1320年	6月25日	元応二年	五月十一日	その他：風害	花園天皇宸記	増補史料大成 2-199	陰、晩頭暴風大雨、
1320年	8月5日	元応二年	六月二十二日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従 25下 -P331	水天供、…
1320年	8月14日	元応二年	七月二日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従 25下 -P331	又被修之（水天供）、雨降、
1321年	4月2日	元応三年	二月二十六日	その他：風害	花園天皇宸記	増補史料大成 2-231	晴、酉剋始暴風雨雹、
1321年	4月29日	元享一年	三月二十三日	疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-236	是近日或説云、依当辛酉、天下可有病事、
1321年	6月4日	元享一年	四月三十日	風害：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-241	陰、雨降、未剋許風雨晦冥、樹木多枝折、大木或根抜顛倒、人屋破壊云々、須歟風力止、雨脚漸弱、
1321年	6月24日	元享一年	五月二十日	その他：大雨	花園天皇宸記	日本凶荒史考	大雨如妖
1321年	6月27日	元享一年	五月二十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-243	今日梅雨猶降、
1321年	6月28日	元享一年	五月二十四日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補資料大成 2-244	霖雨不休之間、河水多盈所云々
1321年	6月30日	元享一年	五月二十六日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-244	陰雨、霖雨不晴、洪水溢云々、
1321年	7月1日	元享一年	五月二十七日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-244	此間霖雨不休、今日適得晴、
1321年	7月3日	元享一年	五月三十日	その他	武家年代記裏書	続史料大成 18	日輪三出云々、
1321年	7月4日	元享一年	六月一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-244	朝間大雨、及申剋猶陰気不晴、
1321年	7月27日	元享一年	六月二十四日	疫病	花園天皇宸記	増補史料大成 2-249	是明日祇園可被供養也、今年病事連々、天下不静、依恐縮也、
1321年	7月28日	元享一年	六月二十五日	防災：疫病	八坂神社記録	増補続史料大成 44	依世間病悩於被歎思食、且為御所御祈祷…

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1321年	８月１日	元享一年	六月二十九日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 2-249	晴、此間炎旱也、渉旬歟
1321年	８月５日	元応三年	七月三日	旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従 25 下 -P331	水天供、…三ヶ日延引、雨下、猶七日延行、又十壇、此時、連々雨下、
1321年	８月15日	元享一年	七月十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-251	酉二剋雷鳴暴雨、即属晴、今日雨甘雨歟、定叶民望者歟、
1321年	８月16日	元享一年	七月十四日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-251	晴、雷鳴雨時々降
1321年	８月17日	元享一年	八月十五日	その他：風害	武家年代記裏書	続史料大成 18	夜半大風
1322年	２月10日	元享二年	一月十六日	風害	花園天皇宸記	増補史料大成 2-271	寅剋大風雨降、及卯剋風休、東西屏并中門顛倒、処々立蔀等盛顛倒、桧皮瓦落庭上、
1322年	３月31日	元享二年	三月五日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-277	晴、及晩、俄天陰暴雨、片時即消、雷鳴一両声、
1322年	４月８日	元享二年	三月十三日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補資料大成 2-278	陰雨、…而連日霖雨、鴨川水溢、不可得渡、仍相尋之処、猶不可叶云々、
1322年	７月６日	元享二年	五月十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-291	陰、暴雨、即止、
1322年	７月７日	元享二年	五月十四日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-291	雨滂沱、入夜如沃、
1322年	７月14日	元享二年	五月二十一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-292	午剋許暴雨、即晴、申終又暴雨如沃、余雲不散、雨脚間下、
1322年	７月16日	元享二年	五月二十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-293	晴、申剋許急雨、不経時晴、
1322年	８月２日	元享二年	六月十一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-295	天晴、未時許暴雨、即晴、
1322年	８月９日	元享二年	六月十八日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-297	晴、暴雨、即晴、
1322年	８月13日	元享二年	六月二十二日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-297	終日風吹、入夜雨降、甘□也、今日天気似秋、風前草颯、
1322年	８月18日	元享二年	六月二十七日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 2-297	今夜寒涼似秋、
1322年	８月21日	元享二年	六月三十日	冷害・雪害：疫病	花園天皇宸記	増補資料大成 2-297	近日涼気已至、夜陰尤涼、今日又有暑気、近節病悩満街、
1322年	９月８日	元享二年	七月十八日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 2-299	朝間陰雨、時々降、午後雨脚如沃、及晩漸休止、入夜即晴、
1322年	９月15日	元享二年	七月二十五日	その他	花園天皇宸記	増補資料大成 2-299	未一点風雨如晦、雷鳴数声、
1322年	10月４日	元享二年	八月十五日	その他：風害	花園天皇宸記	増補資料大成 2-302	陰、晩頭雨降、入夜風雨如晦、暁更雨止、天晴、
1322年	10月22日	元享二年	九月三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-2	陰、…午剋雨降、未剋許雨脚休止、
1322年	11月24日	元享二年	十月七日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-10	今夜寒気尤甚、及晩陰晴不定、時雨時々降、
1322年	11月25日	元享二年	十月八日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-10	暁更初雪、薄於霜、終日陰晴不定、時雨降、
1322年	７，８月 (7.23-8.21)	元享二年	六月	旱魃・渇水	太平記	日本震災凶饉攷	夏大旱、米価飛躍す
1323年		元享三年		その他		日本震災凶饉攷	諸国飢饉
1323年	２月３日	元享三年	十二月二十九日	その他：冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-64	凡近日炎上連日事也、又今年寒気過于例年矣、
1323年	８月24日	元享三年	七月十四日	風害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-34	自夜半、天陰小雨、大風起不息、折樹木発屋、近年未有如此大
1323年	８月25日	元享三年	七月十五日	風害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-34	雨降、大風猶甚、所々立蔀等顛倒、寝殿桧皮被吹破、雨脚侵臥
1323年	８月27日	元享三年	七月十七日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-35	此夜大雨如沃、雷鳴尤甚、
1323年	８月28日	元享三年	七月十八日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-35	入夜雨降雷鳴、
1323年	８月29日	元享三年	七月十九日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-35	入夜暴雨雷小鳴、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1323年	9月5日	元享三年	七月二十六日	洪水：その他	花園天皇宸記二	増補資料大成 3-36	終日甚雨下、凡近日陰雨渉旬、適雖見晴天、一日莫不雨、河水膨漲云々、
1323年	10月11日	元享三年	九月三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-41	終日雨降、及酉半雨脚或休、入夜時々雨降、
1323年	10月29日	元享三年	九月二十一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-43	雨降、今日、心神違例、咳気之故也、近日諸人如此、終夜悩乱、
1324年		元享四年		洪水	山城国上桂上野両荘田数并所当米注進状	教王 1-408	（山城国上桂．上野庄）一、元亨四年河成壱町陸拾壱歩　石代也
1324年	3月18日	元享四年	二月十五日	冷害・雪害：その他	花園天皇宸記二	増補資料大成 3-76	雪降、凡今年余寒尤甚、近日聊休、而昨今寒気殆過厳冬、侵肌切骨、咳気未宜、殊以謹慎、
1324年	8月12日	元享四年	七月十四日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-89	寒気等如例、
1324年	9月13日	元享四年	八月十六日	洪水：風害	花園天皇宸記二	増補資料大成 3-91	終夜大風雨、発屋抜樹、所々皆破損、及朝休、…今夜風雨洪水、四十年来未曾有云々、或云建保以後無如之洪水云々、諸河溢流、民屋多以流失、人馬死者不知数云々、鳥羽門顛倒、比叡山諸堂多顛倒之由、慈什語之、
1325年	1月30日	正中二年	一月七日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-112	終日降雪盈尺、想豊年之佳瑞歟、
1325年	1月31日	正中二年	十二月十九日	地震	花園天皇宸記二	増補資料大成 3-157	未終歟、申初歟之間、大地震、良久而休、此間惣連々動揺、不能記、今日又有大動、天変地妖、尤可怖事歟、
1325年	4月8日	正中二年	二月十七日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-120	入夜雪降、此春余寒過例、
1325年	6月20日	正中二年	五月一日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-126	朝間天陰暴雨小雷鳴、午後又雷雨、
1325年	7月5日	正中二年	五月十六日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-127	陰、雨或如沃
1325年	8月1日	正中二年	六月十四日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補資料大成 3-130	予小狩衣上□、炎暑窮屈不堪之故也、
1325年	8月2日	正中二年	六月十五日	その他：風害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-130	晴、晩頭暴風雷鳴、有頃休、
1325年	8月3日	正中二年	六月十六日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補資料大成 3-130	予中間起座、不堪炎暑之故也、
1325年	8月12日	正中二年	六月二十五日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-132	申剋許、暴雨如沃、頃之晴、
1325年	8月13日	正中二年	六月二十六日	その他：大雨	花園天皇宸記二	増補資料大成 3-132	寅剋大雷鳴大雨、及辰一点休止、霹靂二ヶ所云々、大炊御門富小路雷火一宇焼了、大雨雷鳴近年未曾有有歟、諸河水疫溢漲云々、前庭池水侵岸、小鳥皆没了、今日於泉辺有盃数巡、…〔裏書〕洪水超過先々、山上無動寺房十七宇流失、坂下小家等、被水害者不知数、翌日於泥土中、所
1325年	8月20日	正中二年	七月三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-133	陰、急雨、即止、
1325年	8月22日	正中二年	七月五日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-134	早涼尤甚、
1325年	9月4日	正中二年	七月十八日	その他	花園天皇宸記	増補資料大成 3-136	入夜雷鳴霹靂祇陀林寺云々、
1325年	9月9日	正中二年	七月二十三日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-136	入夜雨脚如沃、
1325年	9月10日	正中二年	七月二十四日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-136	陰雨或滂沱或微、
1325年	9月17日	正中二年	八月二日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補資料大成 3-136	入夜大雨、
1325年	11月17日	正中二年	十月三日	冷害・雪害	花園天皇宸記	増補資料大成 3-145	雪与雨降、此両三日、寒気超于節、
1325年	12月5日	正中二年	十月二十一日	地震	花園天皇宸記二	増補資料大成 3-148	今夜亥剋大地震、良休不休、其後、連々小動不知数、子剋許又地震、及丑終又大動、其間、小動大略無隙、…

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1325年	12月13日	正中二年	十月二十九日	地震	花園天皇宸記	増補資料大成 3-148	今夜地震、都此間毎日事也、
1325年	12月14日	正中二年	十一月一日	地震	花園天皇宸記	増補資料大成 3-148	晴、地震、頗大、
1325年	12月25日	正中二年	十一月十二日	疫病	花園天皇宸記	増補資料大成 3-150	近日諸人病悩不択貴賤云々、
1330年	6月16日	元徳二年	五月二十一日	その他	東寺執行日記	鎌 40-31043	〔記録書下文〕記録書 / 洛中米穀和市事 / 右、米穀者、民之天、国之本也、頃年豊穣之処、近日依知市之不定、有衆庶之飢饉云々、太不可然、所詮、新穀出現之程、任弘安之例、以宣旨一斗宛銭百文、可交易者也…
1330年	7月3日	元徳二年	六月九日	その他	東寺執行日記	鎌 40-31060	〔後醍醐天皇宣旨〕近日京洛俗、偏専利潤、杜康之業頗以繁多、穀価騰躍之間、被定其法…
1330年	7月9日	元徳二年	六月十五日	その他	東大寺文書四 - 六六	鎌 40-31068	〔後醍醐天皇宣旨案〕近日民間有飢饉之聞、仍為被休衆庶之愁、至于来八月、所被止諸関升米并兵庫嶋目銭也、可存知之旨、可被下地之由、天気所候也、…/ 追言上 / 被申関東、雖可有左右、穀価騰躍、民愁已急々之間、依可経日数、先所被仰也、可被存其旨由、同可被仰下候也、重謹
1332年	1月8日	元弘二年	十二月十三日	その他	花園天皇宸記二	増補史料大成 3-234	今度諸国亡弊之上、依兵乱、段米等有名無実、及今月上旬、行事官等、不可叶旨、度々申切了、
1332年	4月22日	元弘二年	三月十九日	その他	京都大学古文書集八	鎌 41-31713	〔賢乗奉書〕関東御下向兵士事、…田地流出之間、…住人等歎申之条、非無其謂、仍以別儀、被免除之旨、御気色候也…
1332年	5月20日	元弘二年	四月十七日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成 3-203	牛剋也、大地震音、文保以後如此大動無之、尤為怖、
1332年	6月27日	元弘二年	五月二十六日	地震	花園天皇宸記	増補史料大成 3-209	自今夕、五壇法被始業之、天下未静之上、地震災之故也、
1332年	7月18日	元弘二年	六月十七日	旱魃・渇水	花園天皇宸記	増補史料大成 3-212	今日炎気甚、今日始有盛暑之気、
1332年	7月27日	元弘二年	六月二十六日	その他：風害	花園天皇宸記	増補史料大成 3-212	今夕風雨雷鳴尤甚、
1332年	7月31日	元弘二年	六月三十日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 3-213	今年自五月下旬、霖雨不休、此両日三日雖雨止、猶毎日有暴雨、又炎暑遅来、而今月下旬有極熱之気、
1334年	1月16日	建武一年	十二月十三日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P66	大地震、
1334年	1月16日	建武一年	十二月十三日	地震	皇年代略記	新校群書類従 2-P212	大地震、
1334年	10月3日	建武一年	八月二十七日	地震	皇年代私記	史料 6-1	大地震、
1334年	10月3日	建武一年	八月二十七日	地震	皇年代略記	改定史籍集覧 19-P66	暁、大地震、
1335年	12，1月 (12.23-1.21)	建武二年	十一月	その他	東寺百合へ四八	東寺文書 2	〔山城上野庄年貢散用状〕…公田十一町一反八十歩…/ 不作五反小廿歩 / 河成二町四反小四十歩 /…分御米六十七石六斗五升九合六夕三才／損亡三石七斗…
1337年	12月 (12.1-12.30)	建武四年	十一月	その他	東寺百合へ五二	東寺文書 2	〔山城上野庄年貢散用状〕…公田十一町一反八十歩…/ 不作参段大小廿歩 / 河成弐町四反四十歩 / 分御米六十八石二斗八升九合七夕二才…
1338年	8月13日	延元三年	七月十九日	地震	皇年代略記	史料 6-1	大地震、同廿二地震
1338年	8月13日	暦応一年	七月十九日	地震	皇年代略記	新校群書類従 2-P213	大地震、
1339年	9月23日	暦応二年	八月十二日	その他：風害	師守記一 - 十五頁	史料編集	終夜吹大風、以外過法者也、
1339年	10月15日	暦応二年	九月四日	地震	師守記一 - 二四頁	史料編集	今夜子剋許地震甚、
1339年	10月23日	暦応二年	九月十二日	風害	師守記一 - 二七頁	史料編集	今日雷鳴、如辻風吹風、家少々吹損歟

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1340年	3月3日	暦応三年	一月二十六日	地震	師守記一 -八二頁	史料編集	今日酉剋大地震
1340年	8月23日	暦応三年	七月二十二日	防災：旱魃・渇水	師守記一 -一七三頁	史料纂集	来廿四日、為祈雨、可被発遣丹生・貴布祢両社奉幣、任例可被催沙汰云々、
1340年	8月25日	暦応三年	七月二十四日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従25下 -P331	始修之（水天供）〈二旬、但修中降雨、十三日修之〉/ 被論言□、有炎旱之際、祈豊霈之処、今依水天之累両旬、惣得秋雨之潤百穀、…
1341年	3月12日	暦応四年	二月十六日	地震	師守記一 -二五四頁	史料編集	今日午斜大地震甚、不知其故、
1341年	4月8日	暦応四年	三月十四日	その他	師守記一 -二七五頁	史料編集	今日南山科御稲田、藤九郎作段大内、大分去年河成云々、件河成分、自今年河成分、半分御米三ヶ年可免除之旨、賜書
1341年	4月9日	暦応四年	三月十五日	その他	師守記一 -二七七頁	史料編集	南山科御稲田、藤九郎作段大内、大分去年河成云々、所詮自今年河成分、大内半分供御米有御免也、
1341年	4月13日	暦応四年	三月十九日	その他：大雨	師守記一 -二七八頁	史料編集	天陰雨降、深雨也、時吹風、入夜終夜雨降、
1341年	7月13日	暦応四年	五月二十一日	その他：大雨	水天供現行記	続群書類従25下 -P332	始修之〈水天供〉六々日、〈第五、六両日、甚雨也〉…同廿七、八両日、甚雨、…重不休勤修、然而連々甚雨也、此上、降雨之懇祈、民間還而可愁法水之間、令斟酌経数日之後、六月廿五日叡感綸旨到来、…
1342年	8月28日	康永一年	七月十九日	防災：旱魃・渇水	師守記二 -七六頁	史料纂集	明日為祈雨、可被発遣丹生・貴布祢両社奉幣使、任例可被催沙汰云々、
1342年	8月29日	康永一年	七月二十日	防災：旱魃・渇水	師守記二 -七八頁	史料纂集	被発遣祈雨二社奉幣使、上卿已下同前、
1343年	8月6日	康永二年	七月八日	旱魃・渇水	八坂神社記録二（祇園執行日記）	増補続史料大成44	及三十日炎旱珍事候処、雖小雨降了、
1343年	8月17日	康永二年	七月十九日	その他：大雨	八坂神社記録一	増補続史料大成43	去月十三日大雨後、卅六ヶ日炎旱、天下珍事之処、今日始而雨降、殊勝々々、但今日雨、朝計也、仍不足、
1343年	8月17日	康永二年	七月十九日	その他：大雨	八坂神社記録二（祇園執行日記）	増補続史料大成44	大雨、去月十三日大雨注、卅六ヶ日炎旱、天下珍事義、今日始雨降、殊勝々々、但今日雨朝計也、仍不足、
1344年	7月8日	康永三年	五月二十日	洪水：その他	師守記二 -一四四頁	史料纂集	天陰雨降、未剋大雨以外也、地上如池、所々洪水云々、
1344年	8月9日	康永三年	六月二十二日	洪水	師守記二 -一六八頁	史料纂集	天晴、申斜夕立、酉斜又夕立、雷鳴甚、以外洪水也、入夜休、
1344年	10月24日	康永三年	九月十日	その他：冷害・雪害	師守記二 -二五二頁	史料纂集	〔今朝〕初霜
1345年	7月14日	康永四年	六月七日	洪水：その他：大雨	師守記三 -一一三頁	史料纂集	天陰、雨降甚雨、申剋地震、今日祇園御輿迎也…依洪水不叶浮橋之間、神輿奉舁渡河原云々、
1345年	9月2日	康永四年	七月二十七日	その他：大雨	師守記三 -一四三頁	史料纂集	天陰雨降、吹風、以外風雨也
1345年	9月3日	康永四年	七月二十八日	洪水：その他	師守記三 -一四四頁	史料纂集	天陰雨降、雷鳴甚、昨日雨已後洪水過法、近年如此洪水無之云々、以外事也、
1345年	9月4日	康永四年	七月二十九日	防災：大雨	師守記三 -一四四頁	史料纂集	今夜戌剋被行止雨奉幣…差進止雨奉幣丹生・貴布祢両社使事…
1345年	9月9日	康永四年	八月五日	防災：大雨	師守記三 -一五六頁	史料纂集	天下触穢之時、被発遣止雨奉幣候之条、有憚否、先例可被注進由、被仰下候也、
1346年	6月15日	貞和二年	五月十七日	その他：大雨	史守記三 -二〇八頁	史料纂集	天陰終日甚雨、為耕作殊勝云々、神妙、
1347年	3月10日	貞和三年	一月二十日	地震	史守記四 -十六頁	史料纂集	午始大地震
1347年	6月14日	貞和三年	四月二十七日	洪水：その他	史守記四 -九四頁	史料纂集	天陰雨降、此間連々雨降、洪水云々、
1347年	6月15日	貞和三年	四月二十八日	洪水：その他	史守記四 -九四頁	史料纂集	天陰雨降、洪水以外也云々、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1347年	７月８日	貞和三年	五月二十一日	洪水：その他	師守記四 - 一〇九頁	史料纂集	陰晴不定、申斜巳後雨降、畿内以外洪水云々、
1347年	７月19日	貞和三年	六月三日	防災：大雨	師守記四 - 一一六頁	史料纂集	霖雨御祈被行二社奉幣外、被行他御祈近例、聊御不審候、
1347年	８月11日	貞和三年	六月二十六日	疫病	師守記四 - 一三四頁	史料纂集	依天下病事、被行御祈例等可注賜云々、
1347年	８月12日	貞和三年	六月二十七日	地震	師守記四 - 一三六頁	史料纂集	今日子剋許大地震、
1348年	６月23日	貞和四年	五月十八日	防災：旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従 25 下 -P333	始修之（水天供）〈六ヶ日第五、六両日、甚雨也〉/ 被綸言□、有炎旱之際、祈豊霈之処、今依水天之累両旬、惣得秋雨之
1349年	３月16日	貞和五年	二月十九日	地震	皇年代略記	新校群書類縦 2-P213	大地震、将軍墓又鳴動、
1349年	６，７月 (6.25-7.23)	貞和五年	六月	旱魃・渇水		日本震災凶饉攷	夏大旱
1350年		観応一年		疫病	園太暦	日本震災凶饉攷	疾疫流行
1350年	７月６日	観応一年	五月二十三日	地震	八坂神社記録一	増補続史料大成 43	申［　］大地振…百度大路石堂塔九輪落砕了、希代大振動也、
1350年	７月８日	観応一年	五月二十五日	地震	八坂神社記録	増補続史料大成 43	申［　］大地震、火神動、同一昨日、
1350年	７月８日	観応一年	五月二十五日	地震	八坂神社記録二（祇園執行日記）	増補続史料大成 44	申刻大地震、…
1350年	７月11日	観応一年	五月二十八日	洪水	八坂神社記録	増補続史料大成 43	洪水以外也、四条河原横（往）反人無之、
1350年	７月11日	観応一年	五月二十八日	洪水	八坂神社記録二（祇園執行日記）	増補続史料大成 44	洪水以外也、四条河原往反人無之、
1350年	７月12日	観応一年	五月二十九日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P68	寅剋・午刻・申刻・三ヶ度地震、
1350年	８月３日	観応一年	六月二十二日	地震	八坂神社記録	増補続史料大成 43	亥刻大地震、
1350年	８月３日	観応一年	六月二十二日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P68	亥・子刻地震、又夜半地震、
1350年	８月13日	観応一年	七月二日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P68	地震、申・亥剋又地震戌刻、将軍墓鳴動、以外也、
1350年	８月23日	観応一年	七月十二日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P69	自仙洞、依地震、被発遣山陵使、
1351年	３月25日	観応二年	二月十九日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P69	大地震、又将軍墓鳴動
1351年	４月21日	観応二年	三月十七日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P69	戌刻、天変地震、今夜子刻地震、
1352年		正平七年		その他	園太暦	日本震災凶饉攷	是歳飢饉
1353年	４，５月 (4.13-5.11)	正平八年	三月	旱魃・渇水	園太暦・大日本史	日本震災凶饉攷	春大旱
1353年	５，６月 (5.12-6.9)	文和二年	四月	風害	東寺王代記	続群書類従 29 下 -P79	依大風 、真言院顛倒
1353年	７，８月 (7.10-8.7)	正平八年	六月	洪水：その他	園太暦・大日本史	日本震災凶饉攷	夏諸国霖雨洪水
1355年	３月３日	文和四年	一月十一日	その他：風害	年代記	日本震災凶饉攷	大風雷
1356年	９月17日	延文一年	八月十四日	その他：風害	皇年代略記	新校群書類従 2-P215	大風、
1356年	９月17日	延文一年	八月十四日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類従 20-P263	大風、
1356年	９月27日	延文一年	八月二十四日	その他：風害	暦仁以来年代記	続群書類縦 29 下 -P230	大風、
1357年	７月９日	延文二年	六月十四日	洪水	八坂神社記録	増補続史料大成 43	堀川神人来、雖為洪水、河原浮橋沙汰渡云々、
1358年		延文三年		洪水	年代記	日本震災凶饉攷	諸国洪水

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1359年		延文四年		洪水	年代記	日本震災凶饉攷	洪水
1359年	7月1日	延文四年	五月二十七日	風害	延文四年記	続群書類従29下-P376	入夜暴風雨、六条若宮并祇園太政所鳥居顛倒了、西院梅二本、大枝吹折了
1359年	8月22日	延文四年	七月二十日	防災：旱魃・渇水	延文四年記	続群書類従29下-P378	雨御祈於御影堂始之、〈三ヶ日〉
1359年	8月23日	延文四年	七月二十一日	防災：旱魃・渇水	水天共現行記	続群書類従25下-P333	始行（水天供）
1359年	8月25日	延文四年	七月二十三日	その他：風害	嘉元記	改定史籍集覧24-P315	夜大風吹、其時宇治河橋ヨリ上、石塔ヨリナヲ上、河中分量モ不知、大石往古以来在之、此風中ニ俄ニ失了、其石ノ跡ニ流水流レ入テ、三時瀬絶シテ、往還之人、橋ヲモ不渡、河中ヲカチワタリニス、依之、ヨド河モ、三時水絶テ、魚多ク被取了、三時之後、如元、水流云々、件石由
1359年	8月26日	延文四年	七月二十四日	その他	延文四年記	続群書類従29下-P378	同暁、宇治河水悉旱、但、河橋水上二一大石方八丈、毎年祭之石也、而俄隠没、希代事也、
1359年	9月9日	延文四年	八月九日	旱魃・渇水	水天共現行記	続群書類従25下-P334	水天供事、降雨猶不普潤、誠民間之憂、更不休候歟、…
1359年	10月31日	延文四年	十月一日	地震	延文四年記	続群書類従29下-P380	子刻、大地振、
1361年	7月30日	康安一年	六月二十日	地震	皇年代略記	新校群書類従2-P215	大地震、其以後連綿大地震、金堂并南都堂舎已下依地震顛倒、
1361年	8月1日	康安一年	六月二十二日	地震	武家年代記裏書	続史料大成18	地震、天王寺金堂倒、
1361年	8月1日	康安一年	六月二十二日	地震	如是院年代記	新校群書類従20-P264	地大震、天王寺金堂倒、
1361年	8月8日	康安一年	六月二十九日	防災	八坂神社記録	増補続史料大成46	天下静謐御祈祷事、…〈…地振等御慎事〉
1361年	9月26日	康安一年	八月十九日	その他：風害	歴代皇紀	日本震災凶饉攷	京師大風
1362年	10月30日	貞治一年	十月四日	その他	師守記六-十三頁	史料纂集	今日南山城御稲沙汰人来、是山田二段供御人同来、申損亡、皆損歎申、此御田八斗大也、而近来用水自醍醐違乱之間、毎事旱損之由歎申之間、於一段三斗、一段ハ四斗弁之、雖不可然（納）処、猶申損亡、不可然之趣、問答帰了、可弁作毛之由
1362年	11月4日	貞治一年	十月九日	その他	師守記六-十五頁	史料纂集	今日南山城御稲沙汰人来、是山田二段損亡事、令申之、…四斗分可沙汰申之趣仰之処、猶不可事行之由令申之間、此上無力、為沙汰人可苅進稲之由仰之了、
1362年	11月21日	貞治一年	十月二十六日	その他：旱魃・渇水	師守記六-二三頁	史料纂集	是日乙訓下村供御人等参入、当年御米旱損之間、以代銭二貫文沙汰進之、書進牛玉裏於起請文了、兼日治定之故也、
1362年	11月26日	貞治一年	十一月二日	その他：旱魃・渇水	師守記六-三三頁	史料纂集	菱川（乙訓上村）御稲御米四斗余到来、今年依旱損、三分二余免除…
1362年	12月29日	貞治一年	十二月五日	地震	師守記六-一〇九頁	史料纂集	入夜丑剋大地震
1362年	12月30日	貞治一年	十二月六日	旱魃・渇水	師守記六-一一二頁	史料纂集	今日酉井被堀之、鳥目一連賜穢多了、今廿文酒直別之歟、井水自六月十三日旱魃、諸々井水払底、悉払底之故也、
1363年	3月27日	貞治二年	二月四日	地震	師守記六-二五一頁	史料纂集	今暁寅剋大地震、
1363年	3月28日	貞治二年	二月五日	防災：旱魃・渇水	師守記六-二五七頁	史料纂集	来七日被発遣祈雨奉幣使、任例可被致沙汰云々、
1363年	3月29日	貞治二年	二月六日	防災：旱魃・渇水	師守記六-二五九頁	史料纂集	今朝明日祈雨奉幣事、被下知文殿代助豊、
1363年	4月10日	貞治二年	二月十八日	地震	師守記六-二九六頁	史料纂集	入夜戌剋大地震、無程又小地震、
1364年	6月23日	貞治三年	五月十五日	洪水：その他	師守記七-一六五頁	史料纂集	天陰甚雨、酉剋雨脚休、入夜属晴、洪水以外也云々、近年如此洪水無之云々、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1364年	6月23日	貞治三年	五月十五日	洪水	師守記七 - 一六五頁	史料纂集	今日北山科御稲入草不入之、依洪水也、
1364年	6月23日	貞治三年	五月十五日	洪水	師守記七 - 一六五頁	史料纂集	洪水過法之間、以種々方便上洛之由、語之、
1364年	6月24日	貞治三年	五月十六日	その他：大雨	師守記七 - 一六五頁	史料纂集	霖雨過法之処、属晴之条、神妙也、
1364年	6月25日	貞治三年	五月十七日	洪水	師守記七 - 一六六頁	史料纂集	今日北山科御稲供御人刑部入道智浄来云、今度洪水、彼耕作御田二段内一段余流、草風情公事、当年有御免者、相尋苗、重可耕作、数十人苦労云々、重可遂耕作之条神妙、但入草等御免不可叶之由仰之間、耕作難儀令申、退出了洪水以外也云々、近年如此洪水無之云々、今夕左近太郎
1364年	7月1日	貞治三年	五月二十三日	防災	師守記七 - 一七〇頁	史料纂集	明日可被発遣止雨奉幣使、…
1364年	7月2日	貞治三年	五月二十四日	防災	師守記七 - 一七三頁	史料纂集	今日止雨奉幣良種雖所労事候、可構参陣之由、令申候
1364年	7月3日	貞治三年	五月二十五日	その他：大雨	師守記七 - 一七三頁	史料纂集	今度霖雨宿所井塞間、東隣鳥井水用之、仍森下往反候、可有御免云々、
1364年	7月16日	貞治三年	六月九日	防災	師守記七 - 二一二頁	史料纂集	今日可被発遣止雨奉幣使
1364年	7月16日	貞治三年	六月九日	防災	師守記七 - 二一三頁	史料纂集	今夜被発遣止雨二社奉幣使
1364年	9月5日	貞治三年	八月一日	その他：大雨	師守記八 - 一頁	史料纂集	天晴、未剋雨降、即止、申剋甚雨、及酉剋休属晴、此間数日不降雨之処、人民悦歟、
1364年	9月22日	貞治三年	八月十八日	その他：大雨	師守記八 - 六七頁	史料纂集	天陰雨下、甚雨、入夜亥剋雷鳴、終夜雨脚不絶、
1364年	9月23日	貞治三年	八月十九日	洪水：その他	師守記八 - 六九頁	史料纂集	天陰降雨、申斜以後休、入家属晴、洪水以外也云々、
1364年	10月7日	貞治三年	九月四日	その他	師守記八 - 一二三頁	史料纂集	今日深草供御人刀禰入道参入、昨日検見左右尋申入之、…三分一無御免者、不可叶之由令申、退出、
1364年	10月8日	貞治三年	九月五日	旱魃・渇水	師守記八 - 一二四頁	史料纂集	今日深草御田半田作人参入、申損亡、…
1364年	10月14日	貞治三年	九月十一日	洪水：その他	師守記八 - 一三二頁	史料纂集	天陰、朝間降雨、風吹甚、巳剋以後風雨止、未剋属晴、洪水以外云々、
1364年	10月17日	貞治三年	九月十四日	虫害	師守記八 - 一三四頁	史料纂集	付虫食損之間、可有御免之由令申、凡不限御田、山科七郷田地如此云々、可有叙用之趣、仰之了、以外事也、
1364年	10月20日	貞治三年	九月十七日	虫害	師守記八 - 一三七頁	史料纂集	今日北山科御稲供御人一人来、虫損事令申、不可叙用之旨仰之了、
1364年	10月21日	貞治三年	九月十八日	虫害	師守記八 - 一三八頁	史料纂集	今日山科辺田地虫食事、相尋覚阿之処、無其儀之由返答、神妙々々、
1364年	10月23日	貞治三年	九月二十日	虫害	師守記八 - 一四〇頁	史料纂集	今日北山科御稲供御人一人来、御田虫損事令申、不可叙用之旨仰之了、
1364年	10月25日	貞治三年	九月二十二日	その他	師守記八 - 一四三頁	史料纂集	今日自下乙訓御稲申損亡、供御人等申状、下司執進之、
1364年	10月27日	貞治三年	九月二十四日	その他	師守記八 - 一四五頁	史料纂集	今日北山科御稲沙汰人後家并刑部入道知浄来云、御稲田損亡事、古老供御人等存別忠、可致既後沙汰候、自余出作六段捨置御田候、可為何様哉云々、…
1364年	10月28日	貞治三年	九月二十五日	その他	師守記八 - 一四七頁	史料纂集	今日北山科御稲沙汰人後家又来、昨日八斗御免事、令申供御人等之処、一石分可有御免旨、歎申候間、重来之由令申、不可然、何様何苅御田之由、可下知之趣、仰之了、
1364年	10月31日	貞治三年	九月二十八日	防災：大雨	師守記八 - 一五〇頁	史料纂集	明日可被発遣止雨奉幣使…
1364年	11月1日	貞治三年	九月二十九日	防災：大雨	師守記八 - 一五二頁	史料纂集	今日止雨奉幣使康隆雑［　］事候之間、難参陣之由、令申云々、
1364年	11月2日	貞治三年	九月三十日	その他	師守記八 - 一五四頁	史料纂集	今日菱川御稲内古河御稲申損亡之由間、不被聞入了、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1365年	6月2日	貞治四年	五月四日	疫病	武家年代記裏書	続史料大成18	天下大咳病
1365年	7月10日	貞治四年	六月十三日	洪水：その他	師守記八-二七六頁	史料纂集	天陰雨下、時々休、入夜時々雨下、洪水以外也云々、
1365年	3，4月 (3.31-4.29)	貞治四年	三月	疫病	大日本史	日本震災凶饉攷	春疱瘡流行し、冬疾疫流行す
1366年	11月18日	貞治五年	十月七日	その他	師守記九-四頁	史料纂集	今日乙訓上村内菱川御稲供御人参入、申損亡、不可有叙用
1366年	11月20日	貞治五年	十月九日	その他	師守記九-八頁	史料纂集	今日北山科御稲供御人刑部入道智淨、御米八斗九升且致沙汰…此次沙汰人後家尼来、新御田損亡事、令申之、不可有叙用之旨仰之、
1366年	12月17日	貞治五年	十一月七日	その他	師守記九-五八頁	史料纂集	今朝大炊允国隆并定使源次郎、遣北山科御稲沙汰人許、是新御田三反〈此内半定使/下向之時食云々〉損亡事、問答之、
1367年	6月11日	貞治六年	五月六日	その他：大雨	師守記九-一七一頁	史料纂集	今暁寅剋以後雨降、終日不絶、入夜雨脚休、此間、為耕作水不足之由、有其聞、民庶悦也、
1367年	8月24日	貞治六年	七月二十日	防災：旱魃・渇水	師守記十-三二頁	史料纂集	明日可被発遣祈雨奉幣使…
1367年	8月31日	貞治六年	七月二十七日	旱魃・渇水	師守記十-四七頁	史料纂集	天陰、巳剋以後降雨、終日不絶、近日炎旱以外也、而降雨、民庶悦也、
1367年	9月21日	貞治六年	八月十九日	その他	師守記十-八六頁	史料纂集	今日乙訓上村御稲内菱川供御人入阿弥参入、申損亡、不被叙用間、帰了、
1367年	9月23日	貞治六年	八月二十一日	地震	師守記十-一〇一頁	史料纂集	今暁卯剋大地震、
1367年	9月23日	貞治六年	九月二十一日	その他	師守記十-一六五頁	史料纂集	今日南山科御稲供御人法道後家、御米二斗余進之、沙汰人同道来、山田損亡事令申、不可叙用、…
1368年	6月4日	応安一年	五月十一日	その他：大雨	鳩嶺雑事記	新校群書類従20-1	八幡（石清水八幡宮）暴雨、且雹、大如桃子、一時計而止、
1369年	10月11日	応安二年	九月二日	風害	後愚昧記一二〇六頁	大日本古記録	入夜大風、雨又降、後聞、依此風仁和寺円宗寺…本寺…観音院・太政官庁東門・真言院…等顛倒云々
1370年	10月11日	応安三年	九月十三日	その他：風害	後愚昧記一二三一頁	大日本古記録	去月十九日廿日両日東国〈駿河国以東〉大風無比類、田畠悉吹損、依之、件国等飢饉流行、又相模国大水、四十年来、未有如此之事、鎌倉ニ向ヘル号飯嶋之孤島〈在家三百余宇富饒所云々〉皆以流失、不知其在所云々、希代事也
1371年	4月13日	応安四年	三月十九日	地震	鳩嶺雑事記	新校群書類従20-1	戌刻大地震、凶云々、
1371年	6月7日	応安四年	四月十六日	防災：大雨	師守記十-二九〇頁	史料纂集	又被発遣止雨奉幣使、
1371年	9月15日	応安四年	七月二十八日	洪水	山城国上野荘水損田注進状	教王2-511	（山城国上野荘、前欠）皆水損　源内／…都合壱町半此内畠一反／右大概注進如件…
1371年	6，7月 (6.22-7.20)	応安四年	五月	洪水	勝山古記	日本震災凶饉攷	大水
1372年	1月3日	応安五年	十二月一日	旱魃・渇水	八坂神社記録二	増補続史料大成44	萱野ヨリ夏見上洛、今年旱損之間、絹一〈一貫六百五十文分云々〉上之、百姓等起請文書進之、絹今一不沙汰之条、以外
1373年	9月26日	応安六年	九月二日	風害	皇年代私記	改訂史籍集覧19-P72	自申斜、大風定及寅刻、土御門東西門及所々門、車宿顛倒、大木多抜倒、
1373年	9月26日	応安六年	九月二日	風害	皇年代私記	新校群書類従2-P216	自申斜、大風定、及寅刻、土御門殿東西門、車宿顛倒、大木多抜倒、
1373年	9月26日	応安六年	九月二日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類従20-P264	大風、
1373年	9月27日	応安六年	九月三日	風害	後愚昧記二一二七頁	大日本古記録	雨猶下、所々人屋仏閣悉莫不破壊、洛中辺土皆以無逃此災之所、驚目駭耳者也、禁裏高倉面棟門顛倒、又官庁〈太政官也〉
1373年	10月26日	応安六年	十月二日	その他：風害	花栄三代記	新校群書類従20-P196	大風、

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1373年	12，1月 (12.22-1.20)	応安六年	十一月	その他	山城国上野庄百姓等申状写	教王 2-523	上野御庄百姓…事、…所詮去大風仁、至于中晩田悉令不熟間…総半分御年貢可究済仕候也…
1374年		応安七年		その他	山城国上野庄年貢算用状	教王 2-539	注進　上野御庄永和元年御年貢散用事……二石五斗七升一合二才　応安四年水損河成新本河原田等分四反八十歩
1374年	1月18日	応安七年	十二月八日	洪水	山城国上野庄年貢算用状写	教王 2-531	注進　上野御庄応安七季御年貢…事…除…二石五斗七升二合二才　当年水損新本河原田等分
1374年	10月５日	応安七年	八月二十一日	その他	山城国上野庄新開田地水損注進状	教王 2-529	注進　上野御庄内新開田地水損事…已上一段三百廿　歩…
1374年	2，3月 (2.20-3.21)	応安七年	一月	疫病	皇年代略記	新校群書類従 2-P216	正・二月、疱瘡流行、
1376年		応安九年		洪水	山城国上野庄田数注進状	教王 2-560	（上野庄）一丁八反三百歩　応安六年河成
1377年	５月14日	天授三年	三月二十八日	土砂災害	南方紀伝下	改訂史籍集覧 3-28	諸国山悉崩、不思儀事共也、
1377年	９月22日	永和三年	八月十一日	冷害・雪害	後愚昧記二二四七頁	大日本古記録	涼気以外出来、世上事、於今者不可有殊事之由風聞、
1377年	９月24日	永和三年	八月十三日	風害	後愚昧記	日本震災凶饉攷	大風木を抜く
1377年	10月１日	永和三年	八月二十日	風害	後愚昧記二二四七頁	大日本古記録	雨下、子刻終大風、折木発屋
1378年		永和四年		洪水	山城国上野庄田数注進状	教王 2-560	（上野庄）一丁大　永和四年河成
1378年	９月15日	永和四年	八月十五日	風害	後愚昧記二二七〇頁	大日本古記録	入夜大風、折木発屋、卯刻以後休止
1379年	２月８日	康暦一年	十二月二十三日	その他	山城国上野庄河成不作畠注進状	教王 2-573	注進上上野御庄内畠并不作等事…已上四反三百十歩…分銭一貫四百六十文
1379年	８月10日	康暦一年	六月二十日	洪水	山城国上野庄河成不作畠注文	教王 2-567	注進上野御庄畠河成不作…都合六反大五十歩内　河成三反…
1380年		康暦二年		その他	巷所不作分地子銭注進状	教王 2-604	巷所除分康暦二年のふさくの事…已上六貫二百四十二文／右注進如件／永徳弐年三月十一日下司代彦六
1380年	１月29日	康暦二年	十二月二十五日	その他	山城国上野庄年貢算用状	教王 2-584	注進状上野御庄康暦二年御年貢散用事…二石等損亡水損分／一石八升朝原不作損亡／一斗九升五合新開不作…
1380年	７月25日	康暦二年	六月十五日	洪水	山城国上野庄河成不作畠注進状写	教王 2-580	注進上野御庄内畠并不作河成事…一、五石二斗四合二勺二才内　一石五斗三升　不作河成
1381年		永徳一年		その他	巷所不作分地子銭注進状	教王 2-605	巷所除分永徳元年のふさくの事…已上五貫四百四十二文／右注進如件／永徳弐年三月十一日下司代彦六
1381年	１月18日	永徳一年	十二月二十五日	風害	東寺百合る七	東寺文書５	〔最勝光院方評定引付〕最勝光院／注進　今日廿五日大風破損事／合／大炊田一宇…
1382年		永徳二年		その他	東西九条年貢算用状	教王 2-612	注進　東西九条御年貢有足散用事　永徳二年…除当年分／三石一升　深草損亡／六斗六升七合西山損亡／四斗五升舟津損亡／已上四石一斗二升七合…
1385年	９月23日	至徳二年	八月十一日	洪水	山城国上野庄早田田数注進状	教王 2-623	（上野庄、前欠）御庄早田事…此内八反水ノ損ヲ申
1387年	10月18日	至徳四年	八月二十八日	その他	山城国久世庄人夫役帳裏文書	教王 3-918	東西九条深草内検帳事／一段損亡二斗二升、得米二斗　左衛門五郎／（ほか五筆）…已上得米一石五斗内　二斗カリヤ／已上損米一石四斗五升
1390年		明徳一年		その他	東西九条女御田年貢未進徴符	教王 2-660	注進東西九条女御田御年貢未進徴符事…鳥羽分／二石六斗四升二合　源三　但水損歎申候／三斗七升蓮正水損申候／四斗九升七合五勺　妙浄…

西　暦		和　暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1391年		明徳二年		その他	東西九条女御田年貢算用状	教王 2-671	注進東西九条女御田御年貢…除…三石二升九合一勺六才九条新河成／十一石五斗七升八合一勺二才　鳥羽新河成并無地／一石一斗六升六合六勺　竹田新川成／八斗六升七合小枝河成／四石七斗六升　当年深草損亡／五斗三升三合七勺　西山定損自当年始之／已上六十一石六斗四升二合七
1392年		明徳三年		疫病	常楽記	日本震災凶饉攷	諸国疫癘人多死
1393年	7，8月 (7.18-8.15)	明徳四年	六月	旱魃・渇水	武家年代記裏書	続史料大成 18	天下大飢、六七月之間旱、
1393年	7，8月 (7.18-8.15)	明徳四年	六月	旱魃・渇水	如是院年代記	新校群書類従 20-P264	自六月、至七月、大旱、
1396年		応永三年		その他	東西九条女御田年貢名寄帳写	教王 2-741	東西九条女御田御年貢米名寄帳応永三年…鳥羽分…一石四升一段水損応永三注進内／九斗損亡九段分／一石四升一段水損重歎申…／水損二段河成二段申上、但下地不シンノ間、ステラレ候了、水損事者当年斗間、御免有ヘキカ、今
1396年		応永三年		その他	東西九条女御田年貢算用状	教王 2-743	注進　東西九条女御田御年年貢散用事応永三年…除…十一石五七升八合一勺二才　鳥羽新川成無地／一石一斗六升六合六勺竹田新川成／八斗六升七合小枝川成／五斗半石七斗六升二合六勺当年鳥羽損亡段別一斗定／二石九斗
1397年		応永四年		旱魃・渇水	武家年代記裏書	続史料大成 18	旱損
1400年	1月1日	応永七年	十二月八日	洪水	山城国上桂上野庄下司分河成并沽却地坪付注進状	教王 3-793	注進 桂上野御庄内下司分河成并永代沽却下地…／一、河成分…以上七反三百歩内／但下司給四段／右注進如件
1401年		応永八年		その他	山城国上下久世庄年貢并公事銭算用状	教王 3-812	一、下久世庄御年貢米事／…二石応永八損亡…
1401年	4月21日	応永八年	二月二十九日	火災	興福寺略年代記・薩戒記・迎陽記・日本野史	日本災異志	寅刻、土御門内裏火代々宸記和漢奇機皆灰燼
1401年	8月22日	応永八年	七月四日	火災	椿葉記・室町御幸記・日本野史	日本災異志	伏見殿火、歴世旧記文書楽局盪盡
1401年	7，8月 (7.21-8.18)	応永八年	六月	洪水	山城国上桂庄田数注文案	教王 3-806	東寺領山城国葛野郡上桂庄田数事／合七町三百歩内／除一町一反三百歩 河成
1401年	8，9月 (8.19-9.16)	応永八年	七月	洪水	日本野史	日本災異志	京都洪水
1402年	11月2日	応永九年	九月二十八日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 七〇頁	思文閣出版	一、上野損亡事、二石分可許之由治定云々、
1402年	11月17日	応永九年	十月十三日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 七一頁	思文閣出版	一、近辺損亡事、不可免之云々、
1404年		応永十一年		洪水	山城国拝師庄年貢算用状案	教王 3-864	注進 拝師庄応永十一年御年貢散用事…［　］石一斗六升二合 新川成（ほか三筆）
1404年	7月4日	応永十一年	五月十八日	その他	東寺廿一口供僧方評定引付一 - 九二頁	思文閣出版	一、上野庄新井料事、去月新井料事、雖為少事、可下給之由、望申之間、披露処、天下大洪水、或旱魃之時者、給之、而非洪水、非旱魃、望申之条、無其謂、不可叶之由、下知之旨、評定了、